

群馬県医師会

会長 須藤 英仁 先生

拝啓

早春の候、貴会におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、群馬県を含む関東地方では、近年 RSV 感染症の流行時期が早まる傾向にあります。群馬県内では 2018 年から「Palibizumab 適正使用を考える会」として関係者で議論し投与開始・終了時期の県内統一を図ってまいりました。今回、日本小児科学会群馬県地方会（以下、地方会）の感染症委員会がこの業務を担当することになり、検討会議にて「原則 4 月より今シーズンのシナジス投与を開始、流行の兆候を認めた場合は、ハイリスク児は 3 月中から投与開始も可。」の結論に達しました。現在投与可能施設では、適切にシナジス投与が開始できるよう準備を進めております。投与開始日程は各施設の準備状況によりますので、シナジス適応のある患者様がおられましたら投与可能施設の小児科にご連絡いただきご確認の上、ご紹介下さいますようお願いいたします。なお、シナジスの終了時期に関しましては、再度、小児科地方会感染症委員会で議論してご連絡差し上げることにいたします。

なお、今年 1 月にファイザー（株）が、妊娠母体への投与による新生児・乳児の RS ウイルス感染予防目的の RS ウイルスワクチンであるアブリスボ®の国内製造販売承認を取得いたしました。この RS ウイルス母子免疫ワクチンにつきまして、日本小児科学会が今月発表した提言を添付いたしますので、併せてご周知いただければ幸いです。

よろしくご配慮の程お願い申し上げます。

敬具

2024 年 2 月 29 日

日本小児科学会群馬県地方会

会長 滝沢 琢己

